

CONTENTS

- 2... 特集1 東日本大震災 骨髓バンクの対応は...
- 3... 末梢血幹細胞移植が実施されました
- 4... 特集2 骨髓バンクの20年 ドナー登録の軌跡
ACの骨髓バンクコマーシャル再開
- 6... 3回目の手紙/トピックス
- 7... 日本骨髓バンクの現状/20周年記念全国大会開催告知
- 8... ドナーの皆さまへ/プレゼント/募金のお礼とお願い

■日本骨髓バンクの現状 ※2011年5月末現在



INTERVIEW

近畿地区を中心にリポーターとして活躍中のおちあやこさん。3年ぶりに復活するAC(※P5)の骨髓バンク支援コマーシャルにドナー経験者として出演。また今年12月の骨髓バンク20周年の記念大会では司会を務めていただきます。そんなおちあやこさんに提供時を振り返ってお話を伺ってみました。

献血をよくしていましたが、そこで骨髓バンクのチラシをいただいたことがドナー登録のきっかけでした。その頃、アンディ・フグさんのコマーシャルが流れていたのを覚えています。あんなに屈強な肉体の方がどうしてこういう病気になるのかとびっくりしました。

登録後、わりとすぐに適合通知が来ました。当時、声を使う仕事をしていたので少し心配していたところ、他の候補に決まったのが終了となっていました。その後2回目の通知が届いたので、こんなに簡単に合うのかと思いましたが、父が心配する一方、母は「あなたがいいと思うなら」と私を尊重してくれ家族の同意は何とか得ることができました。フリーで仕事をしていたので、調整は自分でやりくりし仕事に影響はありませんでしたが、内心では復帰への不安もありました。

提供することを前提に登録していましたので、各段階でコーディネーターが慎重に事を進めているのが不思議でしたが、患者さんの命に関わるともデリケートな問題だからなのだと、あとになって気づきました。

採取当日、ドラマでしか見たことのない経験を味わいました。ストレッチャーに乗せられて運ばれた手術室は、ライトが煌々と光っていました。自分がこれからどうなるのか、しつかり見ようと思ったのもつかの間、手の甲への注射が痛いという記憶を最後に、目が覚めた時は全てが終わっていました。採取後の痛みはドーンとする腰痛程度で意外でした。退院後、エレベーターのない自宅4階への階段の昇り降りがつらかったですが、それも2、3日でおさまり、仕事へは2日後に復帰することができました。

患者さんがそばにいるわけでもなく、会ったこともないので、まったく実感がわきませんでした。お手紙をいただいてから「元気にしているらしいんだ、移植がうまくいったんだ」と本当にうれしくなり涙が止まりませんでした。

自分が世の中で何の役にも立たないのではと悩んでいる時期に、「ありがとう」と言ってもらえたことで存在価値を認められたよううれしかった。人生の中で心の底からありがとうと言われることはそうないはず。私の方こそ「ありがとう」と言わせていただきたいです。

2回目の提供の機会があったら...、もちろん、喜んで提供します。

おち あやこさん

Ayako ● Ochi 2000年ドナー登録。2004年骨髓提供。



東日本大震災 骨髓バンクの対応は……

2011年3月11日(金)午後2時46分、東北、関東の太平洋沿岸は、かつて誰もが経験をしたことのないほどの強い地震と大津波に襲われました。この大震災で被害を受けた皆さまに對しましては、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りしております。この震災の影響は骨髓バンク事業にも大きいのしかったです。本号では震災直後の骨髓バンクの対応について報告します。

① 3月11日 東京 骨髓バンク中央事務局

午後2時46分、地震発生。コピー機は定位置から大きくずれ、机やキャビネット上の資料はあちこちへ散乱し、天井の一部が落下。そうした中、職員は個人情報に関わる書類を収納施設し、屋外退避。大きな揺れが収まった時点で移植調整部、広報渉外部の両部長は業務再開について検討し、安全のため全員の帰宅を決定。コーディネーター研修会のため松山市に出張中の事務局長と厚生労働省、中央骨髓データセンターへ報告しました。



② 3月11日 愛媛県松山市 ドナーコーディネーター担当者

前日から開催していたコーディネーター研修会は午前で終了し、皆が帰路に着き始めたころ、空港へ向かうバスの中でドナーコーディネーター部長は東京の事務局から一報を受けました。東北、関東で大きな地震があり、東京も混乱状況となり職員に帰宅を指示するので、今後事務局とは連絡がとれなくなるというものです。空港に到着すると、テレビは津波の映像を映し出していました。「大変なことが起きている」。部長は前後して空港へ集まった職員、コーディネーターを集め、今後の検討会議を開始。まず

③ 3月12日 松山市内のホテル ドナーの安否確認

はドナーの安否確認です。最優先は、すでに患者が前処置を開始しているドナー、次に3月22日～3月31日の採取予定者です。旅行などをしてるケースもあるので東北地区だけでなく全国のドナーを対象としました。ところが電話はどこにもつながりません。空路も羽田空港閉鎖のため夕方には全便が欠航、空港にいた全員でホテル手配と翌日便の予約を済ませ、松山市内に戻りました。

松山に延泊となったドナーコーディネーター担当者は、一つのホテルロビーに集合し、分担

してドナーの安否確認をはじめました。翌週採取のドナーを優先し地区事務局へ指示を出し、事務局を通じコーディネーターからドナーへ安否を確認。地区事務局から次々と報告が戻ってきました。東北地区については、コーディネーターの安否および所在地の確認も同時に行いました。

ドナーコーディネート、移植調整の両部長とドナー安全担当者は、移植・採取に備え、2週間先までの移植予定患者と採取予定ドナーのリストを常に携行しています。そのため、これらの作業を出先から行うことができました。

4 3月11日～13日 東京 患者サイドへの対応

地震当初から、移植調整部長は、厚生労働省へ状況報告を行い、骨髄移植ができない場合を考え、さい帯血バンクへさい帯血の緊急出庫を依頼しました。翌12日、移植予定が近い患者が入院している施設に「ドナーの安否を確認中で、結果がわかり次第連絡すること」「万が一の場合は、さい帯血や血縁の移植も検討してほしい」の2点を連絡しました。向こう1週間の移植予定は43件、3月14日以降に前処置を開始しかつ25日までの移植予定は22件ありました。また、東北地区の施設へは「骨髄の運搬ルー트의確認」をお願いしました。この時点で、3月18日まですでに前処置が開始されていた東北地区の採取予定は2件、移植予

定は1件あり、当初その内1施設とは連絡がとれませんでした。なお、ドナー側も含め、3月28日以降の移植採取ペアについての確認作業は週明けの3月14日から開始しました。

5 東北地区事務局

東北地区の事務局員、コーディネーターは松山からの交通手段が閉ざされ、帰宅まで数日を要することとなりました。また東

北地区事務局は被害が大きく、通勤手段もないことから2名の東北地区事務局員が松山からの帰路、東京に残留し関東地区事務局内に臨時東北地区事務局を置き業務を行いました。

6 関東地区

東北以外でも、茨城、埼玉、千葉などでは計画停電の影響で、数カ月先の採取受入れの確約ができないという事態が生じま

した。また、交通機関にも影響があり、確認検査をはじめドナーの方々やコーディネーターが、通常の何倍もの時間をかけて病院へ出向くなどご苦労いただくケースがありました。

なお、6月13日より被災地におけるドナーコーディネートは、ドナーの方の状況を個別に判断しながら、基本的には全ての地域で再開されました。

末梢血幹細胞移植が実施されました

2011年3月、骨髄バンクを介した一例目の非血縁者間末梢血幹細胞移植が実施されました。移植を受けた患者さんは昨年12月に登録し、ドナーさんの確認検査、最終同意を経て移植が行われたものです。

今後は実施例についてコーディネート過程の検証を行うとともに、現在ドナー候補者に設定している、末梢血幹細胞提供のための条件(骨髄の提供履歴がある等)の見直しについて検討を進めています。

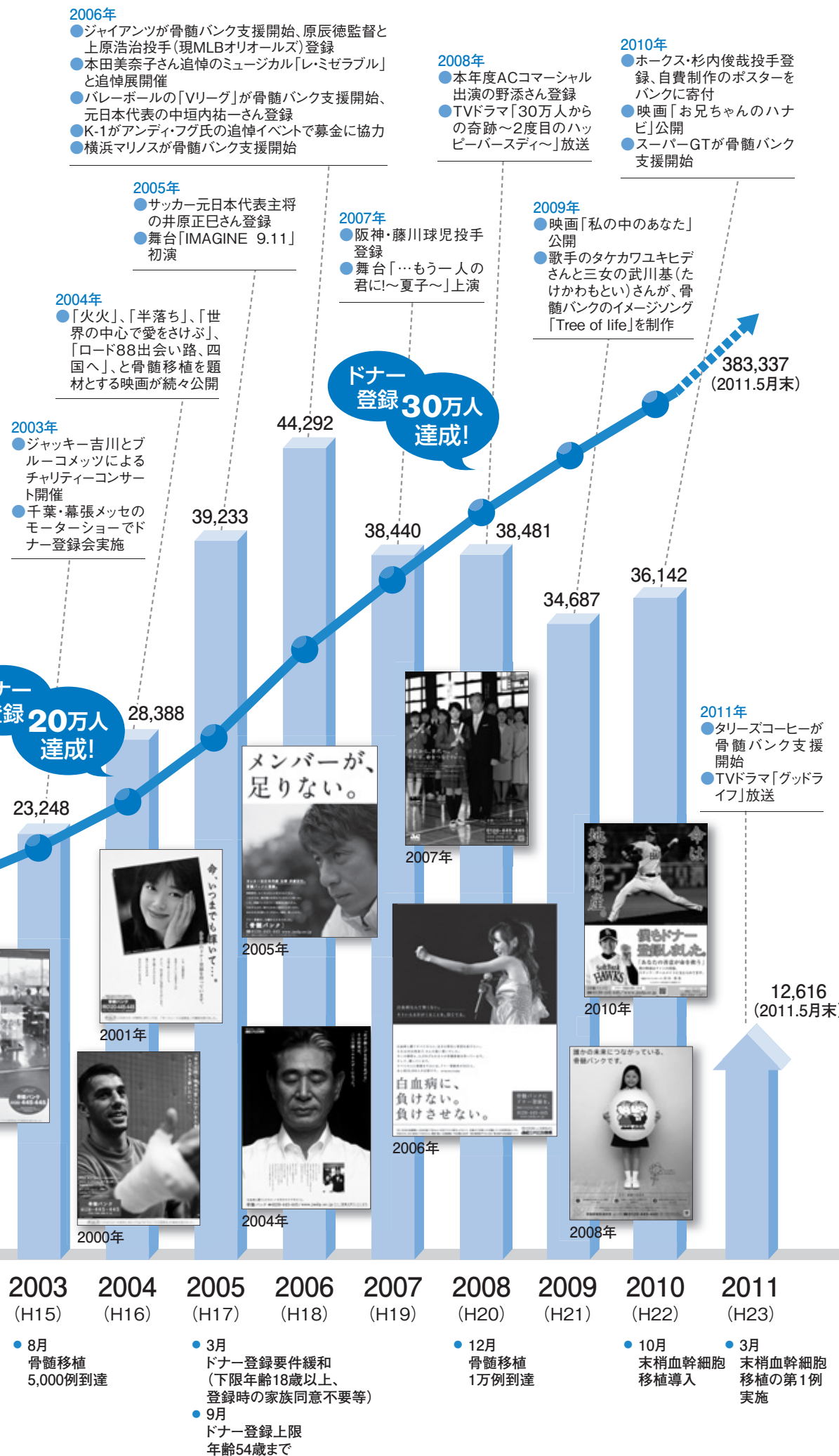
■非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

2011年6月末現在、以下の28施設が非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されています。

採取施設	移植診療科
札幌北榆病院	血液内科、小児科
札幌医科大学附属病院	小児科、第1内科、第4内科
北海道大学病院	小児科、造血細胞治療センター
秋田大学医学部附属病院	第三内科
東北大学病院	血液・免疫科、小児骨髄移植チーム
福島県立医科大学附属病院	血液内科、小児科／臨床腫瘍センター小児腫瘍部門
国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
都立駒込病院	造血細胞移植チーム
日本赤十字社医療センター	血液内科
慶應義塾大学病院	血液内科、小児科
東京慈恵会医科大学附属病院	造血細胞治療センター
神奈川県立がんセンター	血液内科腫瘍内科
東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科、小児科・細胞移植科
富山県立中央病院	内科
安城更生病院	血液・腫瘍内科
名古屋大学医学部附属病院	血液内科、小児科
名古屋第一赤十字病院	内科
三重大学医学部附属病院	血液内科、小児科臨床免疫
大阪市立総合医療センター	血液内科、小児血液腫瘍科
大阪市立大学医学部附属病院	血液内科・造血細胞移植科
神鋼病院	血液・腫瘍内科
神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科、小児科
岡山大学病院	血液・腫瘍内科、小児科
倉敷中央病院	血液内科
高知大学医学部附属病院	第三内科(血液・呼吸器内科学)
久留米大学病院	血液・腫瘍内科
九州大学病院	小児科、第一内科、第三内科
大分県立病院	血液内科

骨髄バンクの20年 ドナー登録の軌跡

1991年に産声をあげた骨髄バンクは今年で20年、成人式を迎える節目の年となりました。ドナー登録の推移は、骨髄バンクの成長の証しです。その成長の記録と、当時公開された映画や舞台、支援イベント、ACコマーシャル等を重ね合わせてみました。これらが登録のきっかけとなった方は、当時を懐かしく思い出されるのではないのでしょうか。さて、あなたが登録したのはいつだったでしょうか？



● ACの骨髓バンクコマーシャル再開!! ●

ACジャパンは「公共のための広告」を通して、よりよい市民社会の実現をめざしている民間の公益社団法人です。全国の企業から寄せられた会費で広告を制作し、あらゆるメディアの協力を得て、さまざまなメッセージを発信しています。骨髓バンクへの支援は、ドナー登録者が30万人になるまで継続いただきましたが、「もっと多くの団体へも機会を」という経済産業省の指導により、2008年度からは休止。この度、3年ぶりに再開です。これまで患者さん出演の作品はありましたが、ドナーの方の出演は今回がはじめてとなります。

野添博行さん

入院や手術が初めてなので不安でした。でもそれは知らないことが多いから。コーディネーターや医師にあれこれ質問し、ネットでもドナー体験者や関係者の話を収集。知識を深めることで不安は薄らぎました。知ることが何より一番大事です。



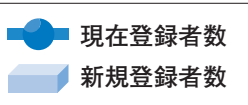
杉本はるみさん(2回提供)

他人の体の中で、私の血液を造りだす不思議に魅力を感じ登録しました。「お金を出しても経験できることではないので是非やってみたい」と。人の命を救えるチャンスは本当に得難い体験でした。



*CMの中で杉本さんの後ろに見えるインコのちーちゃんは、なんと33歳のご長寿です。

*ご出演いただいた3人へのインタビューは、ドナーズネットでご覧いただけます。



1993年

- テノール歌手のホセ・カレーラスさんが骨髓バンク支援チャリティーコンサート初開催
- 柔道の五輪金メダリスト・山下泰裕さん登録
- Jリーグのジーコ選手、リネカー選手が骨髓バンク支援

1994年

- ミュージカル「明日への扉」初演、以降も毎年公演が続いている
- 「あやちゃんの贈り物展」東京で開催、以後全国展開へ
- TVドラマ「21歳の別離」放送
- 野田聖子議員の呼び掛けで「骨髓バンクを応援する若手国会議員の会」(現骨髓バンク議員連盟)発足

1992年

- タレントのケント・デリカットさんと歌手の刀根真理子さんが登録
- 本年度ACコマーシャル出演の杉本さん登録

1996年

- 映画「金色のクジラ」公開、94年にはアニメ映画も制作
- 「X JAPAN」のギタリストhideさん登録

1999年

- 舞台「友情」初演、以降も毎年チャリティー公演が行われている
- ボランティアによる全国キャラバン実施
- 中村勘九郎(現勘三郎)さん登録

2002年

- NHK・プロジェクトX「決断 命の一滴」で骨髓バンクが取り上げられる

2001年

- 新ホームページ、ドナーズネット開設
- 骨髓バンク10周年の記念イベントとして、JR原宿駅にドナー登録を呼び掛ける大型ポスター16枚を設置
- 唐沢寿明さんから「研音」所属タレントの皆さんによるチャリティーオークション初開催

1998年

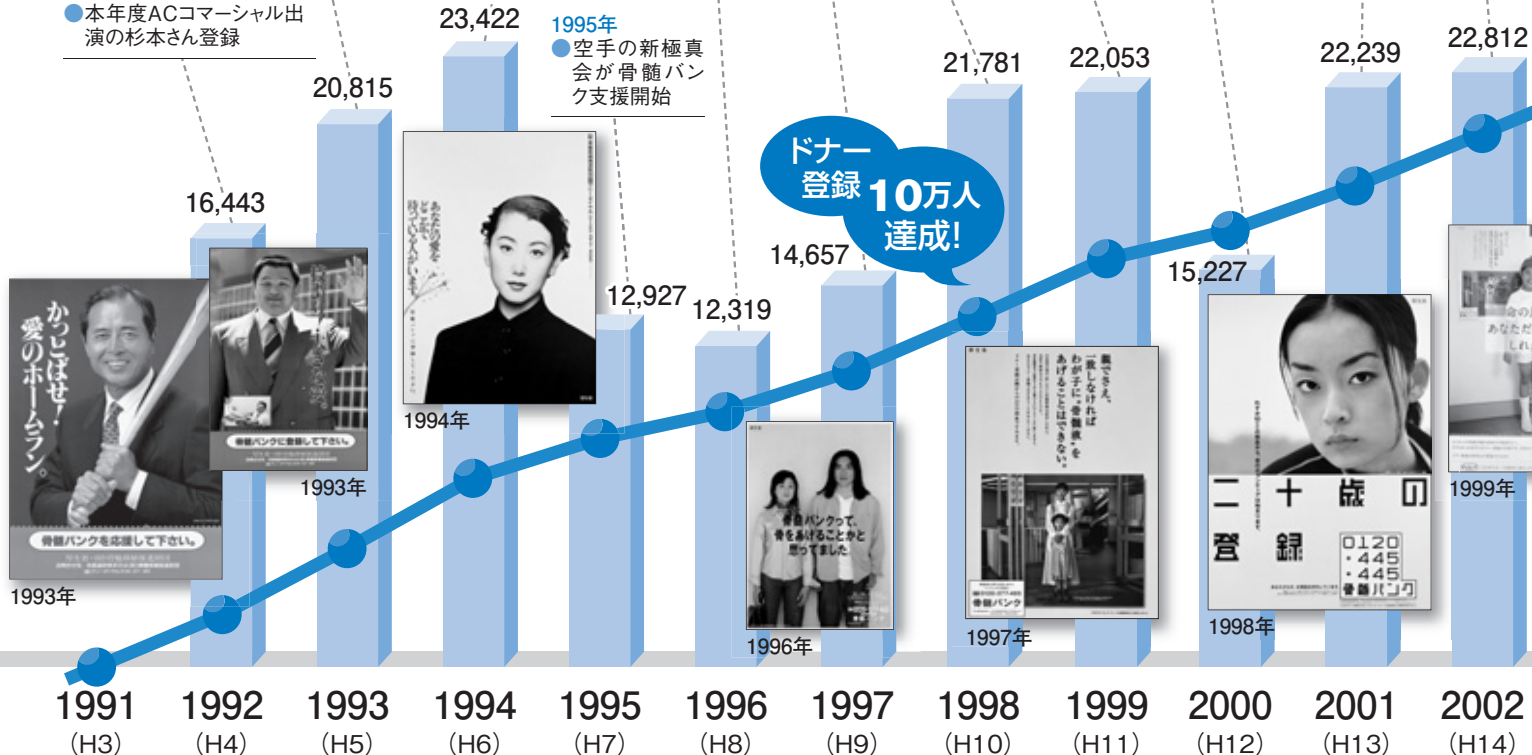
- 骨髓バンクの公式ホームページ開設
- 映画「友情」公開
- セレソン大阪が骨髓バンク支援開始

2000年

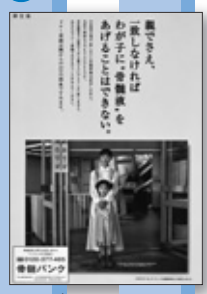
- 本年度ACコマーシャル出演のおちさん登録
- 映画「いのちのあさがお」公開
- 大泉逸郎さん骨髓バンクチャリティーコンサート開催

1997年

- 映画「マイルーム」公開



ドナー登録 10万人 達成!



- 12月 骨髓移植推進財団設立認可
- 1月 ドナー登録受付開始
- 6月 患者登録受付開始
- 9月 コーディネート開始
- 1月 骨髓移植第1例実施
- 4月 国家公務員のドナー休暇が制度化
- 2月 骨髓移植100例到達
- 10月 全国の保健所でドナー登録の受付開始

- 1月 骨髓移植1,000例到達
- 3月 ドナー登録者の目標を、当初の10万人から30万人に拡大。
- 7月 移動献血会場でもドナー登録が可能に

「提供してくれてくれたあなたへ」

差出人 4年前に骨髄移植を受けた 小笠原敏美さん

骨髄バンクを通じて移植を受けた患者さんとドナーさんの手紙のやりとりは、移植後1年以内で2往復まで、「3回目の手紙」は出すことができません。お互いの相手へはお届けすることができませんが、この骨髄バンクニュース紙面にて、お伝えさせていただきたいと思っています。

ドナー様とそのご家族へ、三通目の感謝のお手紙を送らせていただきます。

あなた様には貴重な骨髄を提供していただきました。1年目には、二人の子供たちから銀婚式と元氣になったお祝いに長崎への家族旅行をプレゼントされ幸せな時間を満喫。2年後からは、趣味の教室やスポーツで充実の日々。そして今、4年が経過し、来年には5年目を迎えようとしています。移植の副作用と合併症で20キロ減った体重も、今では10キロ戻りこれ以上増加してはだめだと主治医に言われるほどになりました。3カ月毎の血液検査も病気になる前よりいい状態で、すっかり健康体になっています。これで再発率もぐっと減りました。わが身をも顧みず、患者を救いたいというお気持ちで苦痛に耐えてくださったあなた様の行為を無駄にすることなく、時間と命の重みを感じながら、一日を濃く、悔いを残さぬよう、生きている素晴らしさを実感しながら日々暮らしています。

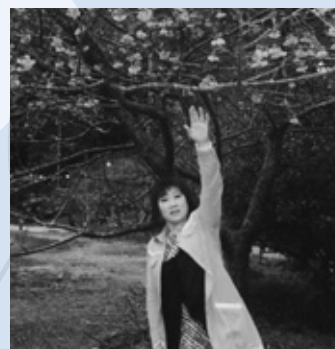
この歓びと感謝の気持ちを表す最高の言葉

葉が見つかりませんが、本当にありがとうございました。

共に闘い励ましあった友の、生きたくても生きられなかった悲しみと悔しさの分も、一日でも長く生きていくのが私の使命だと思っています。絶望の淵にあった私に、あなた様からいただいた新しい命がその使命へと導いてくれました。

私はひと足早く願いがかない、日々朗らかにハッピーロードにしていたことを感謝しておりますが、今も移植を待ちわびて闘病中の患者さんとそのご家族すべてが、笑顔を取り戻し、希望の光で未来を飲むに変わっていただくことを切

にお祈りしています。そして、ドナー様のご健康を心からお祈り申し上げます。



「3回目の手紙」を募集しています。詳細はドナーズネット(<http://www.donorsnet.jp/>)をご参照ください。

トピックス Topics

新潟県加茂市で骨髄ドナーへの助成制度が始まる

全国初となる骨髄ドナーのための助成制度が、新潟県加茂市で導入されました。これは、骨髄バンクを通じて骨髄提供を行った市民に対し、入院・通院1日当たり2万円を支給するというものです。(「広報かも」平成23年4月15日号より)
ドナーの方の後押しとなるこのような制度が全国に広がり、より多くの患者さんの救命につながることを期待したいと思います。

「健康ぶんきょう21」講演会・企画展を実施

- 東京都文京区では、健康づくり計画「健康ぶんきょう21」の一環として、講演会と企画展を実施します。
- 講演会(文京シビックセンター 大ホール) 平成23年9月25日(日)13:00~15:45
出演:鎌田實氏(諏訪中央病院名誉院長)、坂巻壽氏(都立駒込病院副院長)、大谷貴子氏
 - 企画展(文京シビックセンター 1階ギャラリー) 平成23年9月25日(日)~27日(火)
「あやちゃんの贈り物」 7歳で白血病のために亡くなった三瓶彩子さんの残した絵を展示

ドナー登録者累計数が50万人に

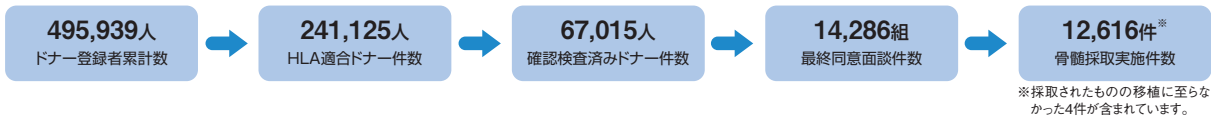
平成23年5月末現在の速報値で、累計のドナー登録者数が500,745人となり、財団設立20年目で50万人を超えました。登録を抹消した方を除いた5月末現在の有効登録者数は383,337人となっています。
これまでに骨髄バンクを通じて行われた移植は12,975例(5月末現在)、ご登録いただいた皆様に感謝申し上げます。近年は年間約1,200件の移植が実施されていますが、毎年、新たに登録される患者さんは国内だけでも約2,000人です。今後より多くの移植を実現できるよう、ドナー登録者数の増加に努めてまいります。
※7ページの「日本骨髄バンクの現状」は平成23年3月末現在の数字を掲載しています

日本骨髄バンクの現状

平成23年3月末現在

非血縁者間骨髄移植の状況

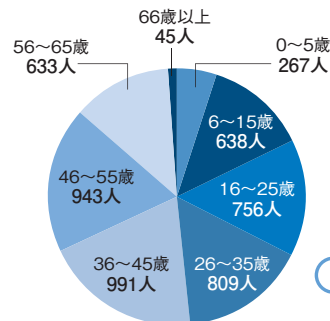
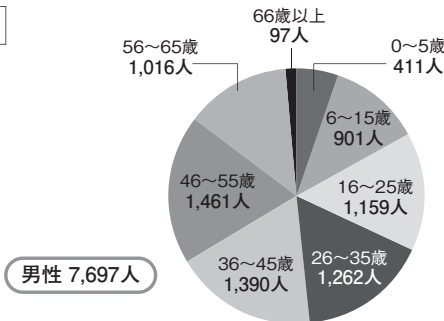
ドナーのコーディネート状況 (1992年から2011年3月までの累計数)



移植患者の状況

12,779件

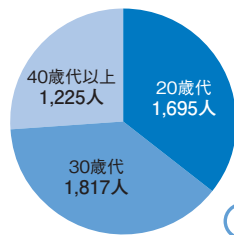
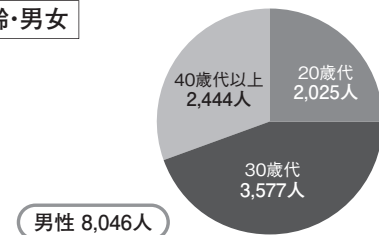
年齢・男女



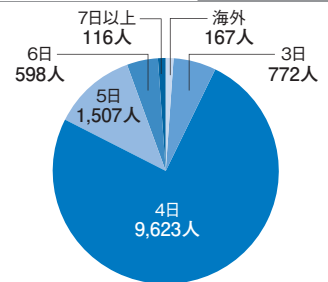
提供者の状況

12,783件

年齢・男女



入院日数



*海外の20歳未満のドナーが4人含まれています。

20周年記念全国大会のお知らせ

骨髄移植推進財団設立20周年を記念して、本年度の骨髄バンク推進全国大会は20周年記念大会として開催します。この記念大会では、これまで当財団にご協力いただいた関係者の皆様に感謝をお伝えできるよう、準備を進めています。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時：平成23年12月17日(土)13:00~17:00
場所：東商ホール
(東京都千代田区丸の内3-2、東京商工会議所ビル4階)
内容：第1部 記念式典、第2部 記念のついで
入場無料

20周年記念イベント情報

●骨髄移植推進財団設立20周年記念キャンペーン「友情～秋桜のバラード～」

白血病の転校生とクラスメートとの友情を描いた舞台「友情～秋桜のバラード～」が今年も幕を開けます。初演から12年、今年は骨髄移植推進財団20周年記念キャンペーンとして、新しい一歩をふみだします。

- ◇平成23年8月24日(水)～28日(日)
三越劇場(日本橋三越本店本館6階)
- ◇平成23年9月1日(木)～7日(水)
渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール
(お問合せ)劇団絵生(えき) TEL03-5427-1822
ディスクガレージ TEL03-5436-9600

●「レオニー」上映会&松井久子監督講演会

姫路地区骨髄バンク推進センターでは骨髄移植推進財団設立20周年を記念して、世界的な彫刻家イサム・ノグチを育てたアメリカ人女性、レオニー・ギルモアを描いた日米合作映画「レオニー」上映会と松井久子監督講演会を行います。

- ◇平成23年7月16日(土) 姫路市市民会館
(お問合せ)姫路地区骨髄バンク推進センター TEL079-298-9447

●骨髄バンクにまつわる命の作文コンクール

新潟県内在住の小学生・中学生を対象に、骨髄バンクに関する体験談や骨髄バンクに関する書籍の感想等、命について考える作文を募集します。

(お問合せ)骨髄バンクサポート新潟 TEL025-546-7337

●SNOWBANK PAY IT FORWARD 2011(開催予定)

音楽ライブやプロのスノーボーダーのパフォーマンスを楽しみながら、骨髄バンクを知っていただくためのイベントです。

◇平成23年11月12日(土)～13日(日) 東京・代々木公園

●ホセ・カレーラス テノール・リサイタル「Sogno～夢」

骨髄移植によって慢性骨髄性白血病を克服した世界的テノール歌手、ホセ・カレーラスによるチャリティコンサートです。コンサートの収益金の一部は骨髄移植推進財団に寄付されます。

◇平成23年11月29日(火) 東京・サントリーホール

ドナーの皆さまへ 登録内容変更の手续をお願いします!

お引越をされた場合等に、住所等の変更手続きをしていただかないと、適合する患者さんが見つかってご本人に連絡が取れず、コーディネートが終了となる場合が少なくありません。

登録内容変更はいずれかの方法です!

① 中央骨髄データセンターのウェブサイトから



【PC版】

- 1) 中央骨髄データセンターのホームページを開いて (<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>)、トップページの中央左にある「登録内容変更」のボタンを押して、「骨髄バンクドナー登録情報」のページを開く。
- 2) 同封のはがきに記載しているアクセスコードと生年月日およびメールアドレスを入力し、ログイン。
- 3) 入力されたメールアドレスに登録要件修正のためのワンタイムパスワード(1回限り有効)と、登録要件修正のための専用ページのURLが返信されます。

【携帯版】

携帯電話からも変更できます。

右のQRコードまたは以下のURLよりアクセスしてください。

【URL】<http://trk.bmdc.jrc.or.jp/k/>



QRコード

② はがきから

必要事項を記入し、ご郵送ください。

変更する項目に、☑️チェックを入れて、変更内容をご記入ください。

登録種別名	変更種別名
付属 医師 種	
マニション・アパート名	専室
電話番号	携帯番号
メールアドレス	
登録種別	登録種別
登録種別	登録種別
登録種別	登録種別

01234567899 - アクセスコード

ウェブサイトからの
変更には
このアクセスコードが
必要です



保留のときは
その期間も
必ず書いて
くださいね!

- 骨髄バンクのフリーダイヤルでは、個人情報の変更手続きは受付けていません。ご注意ください。
- 現在、ご登録保留中の方で、保留解除や登録取り消しに変更される場合、ご登録の骨髄データセンターへご連絡をお願いします。
- * 保留とは? ... なんらかの理由で、しばらく提供を希望しないときは、登録を保留にできます。保留期間を明記してください。保留期間中に保留の解除を希望するときは保留解除にチェックを入れてください。
- * 登録取消とは? ... 今後も提供ができる見通しがたないときは、登録の取り消しをお願いします。

募金のお礼とお願い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金と皆さまからの寄付によって支えられています。寄付金には、特定公益増進法人への寄付として税制上の優遇措置があります。

皆さまの善意をお寄せください

1. 郵便振替

郵便振込用紙で、最寄りの郵便局からお振込みをお願いします。手数料は当財団負担となります。

2. 銀行振込

① ☎️ 0120-377-465 平日 9:00~17:30 までお電話ください。
みずほ銀行本店間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送ります。

② 楽天銀行 (旧イーバンク銀行)
http://www.jmdp.or.jp/help_us/howto/bank.html

24時間入出金が可能な楽天銀行をご利用いただけます (手数料無料)。
なお、事前に口座の開設が必要です。

3. クレジットカード募金

① お電話で 平日 9:00~17:30
ご使用になるカードをお手元にご用意のうえ、☎️ 0120-377-465 までお名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお知らせください。

② インターネットから
詳細は骨髄バンクのホームページをご覧ください。
http://www.jmdp.or.jp/help_us/howto/credit.html

4. 預金口座振替依頼書による引落寄付

詳細は資料をご送付します。☎️ 0120-377-465 平日 9:00~17:30 までお電話ください。

骨髄バンク提携クレジットカードのご案内

クレジットカードによるお支払額の一部が骨髄バンクに寄付される骨髄バンクサポーターカード。寄付金なしの一般会員と、毎年3,000円を寄付するサポーター会員、毎年1万円寄付する特別会員があります。骨髄バンクカードには、この3種類のNICOSカードのほか、各VISA付きカードがあります。

入会申込書を ☎️ 0120-377-465 平日9:00~17:30 までご請求ください。

Present

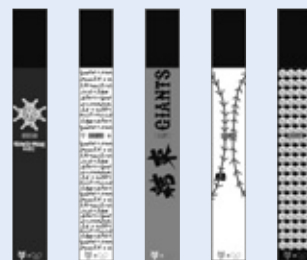
クイズに答えて賞品をGET!!

Q. 骨髄バンクは今年12月に
〇〇周年を迎えます!

〇の中に入る数字を当ててください。

読売巨人軍の本年度骨髄バンクシリーズ限定
チャリティーグッズ

ベルクロ
ウォッチ
10名様



* 種類は選べません。写真はイメージです。デザインは変更されることもあります。

応募締切 2011年8月5日 (金)

応募方法

【PC】

<http://www.donorsnet.jp/news38/> にアクセスし、応募フォームに必要事項を記入の上、お申込みください。

【携帯】

送り先のメールアドレスに present@jmdp.or.jp を入力し、件名を「プレゼント応募」として必要事項(①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④電話番号、⑤名前、⑥年齢、⑦ご意見・ご感想)を明記の上、送信ください。

* 当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。